



学校法人 帯広同朋学園
認定こども園帯広東幼稚園

入園のてびき

080-0812

帯広市東 12 条南 6 丁目 2

TEI (0155)26-1570

FAX(0155)26-1594

Mail higashikodomo@higashi-kodomo.jp

URL <http://www.higashi-kodomo.jp/>



帯広東幼稚園 年間行事

1 学期

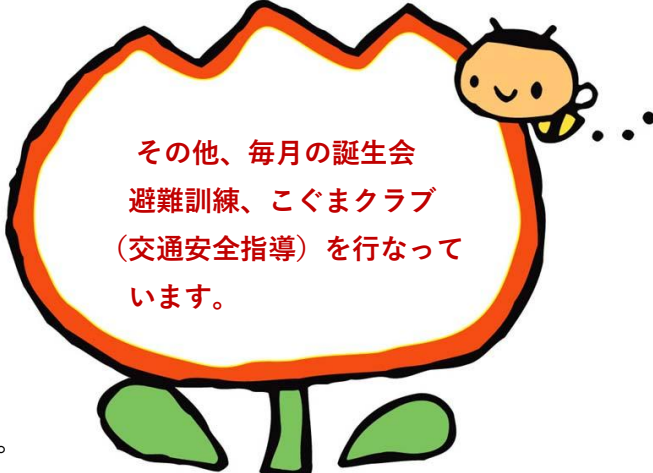
- 4 月 入園式 個人懇談
- 5 月 畑作り 参観日 花まつり 避難訓練
- 6 月 衣替え 内科検診 歯科検診 遠足 運動会
- 7 月 夜のお楽しみ保育 七夕のつどい 盆のつどい

2 学期

- 8 月 敬老の日のつどい
- 9 月 いもほり 消防署見学
- 10 月 衣替え 個人懇談 避難訓練 報恩講
- 11 月 内科検診 発表会 お店ごっこ
- 12 月 成道会参拝 おもちつき

3 学期

- 1 月 雪の坂設営
- 2 月 豆まき 涅槃会参拝 お別れ会
- 3 月 ひなまつりお茶会 卒園式・終業式



その他、毎月の誕生会
避難訓練、こぐまクラブ
(交通安全指導)を行なっ
ています。

さまざまな行事・活動を通して、友だちと関わり
自分と同じ命を生きる他者の存在に気づき、さまざまな
困難に向ったとき乗り越えることで生きる力を育みます。
行事ごとに「ねらい」があり、子ども達の育ちのために
ご家庭のご協力をお願いすることもあります。都度にご案内致しますのでよろしくお願い致します

行事について・・・赤色【】は、保護者の方も参加可能です。詳細は都度にご案内致します。

仏教行事 【花まつり】 4月8日のお釈迦様のお誕生をお祝いします。

園内にて掛図の「花まつり」のお話の掛図を見ます。

年長組は、幼稚園代表で稚児衣装を着て5月にパレードと法要に参加します。



【報恩講】 宗祖親鸞聖人のご命日（11月28日）本堂での法要に門徒・列座の皆さんと参加します。普段、見られない子どもたちの真剣なお参りの姿をみることができます。この日に向けて、各クラス「ののさま」の絵を描きます。法話では、幼稚園の保護者向けのお話しの



時間もあります。子育ての役立つ、ほっとできるお話をきくことができます。ぜひ、ご参加ください

【成道会】（12月8日）ヒマラヤのふもとにあるカピラ国の王子だったシッダルダが、長年の修行の後、お悟りをひらきお釈迦様となりました。

【涅槃会】（2月8日）お釈迦様は、40年間人々に仏の教えを説かれてきましたが、80歳の2月15日の夜その生涯を閉じられました。その日を偲んで参拝いたします。

年間行事

*朝の会・帰りの会・食事の際、手を合わせます。

*毎週月曜日、遊戯場で全園児集まり、お参りをします。

*毎月1回、28日本堂でお参りをします。（宗祖親鸞聖人ご命日）

行事についてのご連絡は、遅くとも1ヶ月前くらいまでにはお知らせ致します。

なお、あらかじめお渡しする行事予定表から天候・感染症拡大・その他諸事情により変更することもありますのでご承知おきください。

【入園式】 入園・進級を新入園児・在園児ともに喜び合う。

新しい仲間・先生との出会いの日となります。新入児と保護者の皆さまに集まっていただきます

【個人懇談】 4月・秋と年2回、保護者の方にご来園いただき、担任と個別に懇談し、おうちのようす・幼稚園での様子を共有します。

年長組の保護者のかたは、入学へ向けて皆さん来園して懇談の時間を取っていただきます。

【参観日】 5月と秋に行なっています。各参観ともに、「保育のねらい」のもと実施します。

5月は、初めてなのでねらいから逸れ、つい手助けしたくなるかもしれませんが、お子さんの力を信じて見守ってご参観ください。保育（教育時間）がメインの行事です。携帯電話の使用・写真撮影・ビデオ撮影はご遠慮ください。乳児組の参観日はなく、お子さんの日常の様子を撮影したものをさせていただきます。

【遠足】 各学年ねらいをもって企画しています。
 5歳～マナーを知り、汽車に乗って遠足に行こう
 4歳～自分の足でしっかり歩き、遠足に行こう
 3歳～動物園にいったり楽しもう



年長汽車遠足
 (帯広⇄芽室)

【歯科検診】 園医 川村歯科クリニック 川村信五先生
 健康に自分の歯でしっかり食事ができるよう検診をします。4歳からのフッ化物洗口の指導をいただいています。

【内科検診】 園医 進藤内科 進藤敦史先生
 健康で元気な身体で過ごせるよう検診をします。



【七夕の集い】
 七夕飾りを作り、楽しく行事に参加し、七夕の由来を知る機会です。

【夜のおたのしみ保育】 年長組が、夜の幼稚園で夕涼みや花火、お友だちとのお楽しみを行います



【プール遊び】
 園舎南側に簡易プールを組み立て、各学年の段階に合わせた深さや活動内容で行っています。危険のないよう、楽しく参加できるよう取り組みます。
 ※中耳炎・水いぼのあるお子さんは、担任にご連絡ください。



【盆の集い】
 盆踊り、お楽しみなど、真夏になる前の一足早い「お盆」です。
 「お盆」を通して、遠くから自分へとつながる命を知る機会です。
 自分で作った「うちわ」を持って盆踊りを踊ります。



【運動会】
 クラスで取り組む初めての大きな行事。
 それぞれの葛藤を乗り越え、自分と違う相手の存在を意識したり、協力することを学びます。

年 長～目標に向かい、一人ひとりの力を発揮し、力を合わせる
 年 中～みんなで力を合わせ最後までがんばる
 2歳・満3・年少～運動会に楽しく参加する
 0歳・1歳～運動会の様子を見て応援する



【消防見学】

年長組が、社会見学で帯広消防署におじゃまします。
見学の最中、出動する場合もあるので、静かに話を聞き参加する年長組です。

【お店ごっこ】

お店の内容・品物など自分たちで話し合い、決めています。
品物づくり（制作）・売り買いのやりとり、呼びかけ（言葉）やお買いもの
（お金を大切に使う）などたくさんの要素とさまざまな楽しみがある行事です。



【発表会】

年 長～クラスで話し合い、みんなで作りあげ、目標に向かい取り組み達成感をもつ
年 中～目標に向かい、一人ひとりの力を発揮し、楽しく参加する
2 歳・満3・年少～お友だちと楽しく参加する
0 歳・1 歳～発表会の様子を見て楽しむ



<劇あそび>



<うた・合奏>



<劇あそび>

* クラスの仲間意識も深まり、友だちと一つの目標に向かい取り組むことで、個々も集団もぐんと成長します。

【おもちつき】 アレルギーの方は、ご相談ください。きねを持ち、白でお餅をつきます。
あんこもち、きなこもち、磯辺まきとおもちづくしの楽しい一日です。

【豆まき】

1 2 月から年長組が、はりこのお面をつくり鬼に変身・・・
みんなで豆まきをして年長組の鬼をやっつけます。



【お別れ会】

一年生になる年長さん、一つ大きい組になる0・1・2・年少・年中組。3月の卒園を迎えるにあたり、みんなで大きくなったことを喜び、お祝いします。

【ひなまつり・お茶会】

春の訪れを喜び、お茶（抹茶）をたて、ひな祭りをお祝いします。



【卒園式】

年長組の卒園、在園児の修了・進級をお祝いします。

親子でそして、一緒に過ごした仲間と大きくなったことを喜び合う一日となるよう、保護者の皆さんにもご参加いただいています。

- * 行事の中で代表をするお子さんもいますが、回数に限りがあるため、代表にならないお子さんもいますのでご了承ください。
- * 行事につきましては、園の運営・感染症の状況・天候などにより、内容の変更・延期・中止などの場合もあります。その際にご連絡致します。
- * 行事の内容により保護者の方のお手伝いをお願いする場合があります。

【その他】 *さまざまな経験、出会いを通じ、成長や学びの機会をもっています。

* 体育活動（年長・年中組）

満3歳、3歳、4歳クラスは、歩く・走る・跳ぶ・ぶら下がるなど基本的な、動きや粗大運動を行います。その基礎をもとに、年中・年長組では年間を通して、カリキュラムに沿った専門的な体育指導を行なっています。指導の中では、ただ運動をする、出来るようになるだけでなく、心を育くみ・達成感がもてるような活動を目指します。

指導・・・グローイングカンパニー

体育指導責任者・・・幼年体育振興協会認定幼少年体育指導員 菊地 伸 先生

* 手話

職員とろう者の方との出会いや交流が始まりでした。言葉や手話がなくても、年齢や障がいの垣根を越え、心と心の交流ができる。その実感を子どもたちに伝えたいという願いから手話に取り組んでいます。手話で自分の名前を自己紹介やあいさつ、歌の発表を行なっています。

* 老人福祉施設訪問

「アメニティ帯広」「鳳悠」など、老人福祉施設を訪問させていただき、交流をさせていただいています。緊張してお出かけしていきませんが、訪問先の皆さまから笑顔と優しさをいただき、帰りは元気いっぱい帰ってきます。



* 異年齢の交流

4月の対面式をはじめ、年長組が自発的に朝・帰りの準備をお手伝いしたり散歩に一緒に行ったり、給食の時間を一緒にとったり、遊ぶ機会を持てるよう関わっています。優しいお兄さん、お姉さんに憧れを持ち、年長になった時、同じように年下の子とかかわるようすがあり、異年齢交流によって自分の存在に気づくことができます。



*外遊びについて

本園では、この時期にしかできない経験・体験を行っています。健康で落ち着いた生活のため、戸外遊びや散歩など外での活動を多く取り入れ、身体づくりを中心にした生活を行なっております。

暖かくなると、砂遊び泥あそび、水あそびなど汚れる活動もあります。

幼稚園への登園は、汚れても良い服装で登園させてください。スカートなども裾が、汚れる、遊具に引っかかってしまうなど危険です。活動的で行動しやすい服装で登園させてください。

汚れて着替えた服も持ち帰りますので、お洗濯をお願い致します。

*おむつについて

乳児クラスでのおむつは、2歳までに外すことができるようご家庭と協力のもと行っております。

新入の幼児クラス（3歳以上）につきましては、ご家庭で入園前にトイレトレーニングを行い、おむつがはずれてからご入園いただきますようご協力ください。

トレーニング中のお子さんもトレーニングパンツで登園し、パンツに移行できるようご協力ください。

なお、乳児のおむつの処理は感染症予防から、幼稚園で業務用ごみとして処理しております。

*登降園管理システム（ルクミー）について

保護者の皆様と円滑なやり取り、対応などの補助的ツールとしてICT「ルクミー」を活用しています。

① 登降園管理 ②メール配信 ③連絡帳 ④おたより配信 ⑤ アンケート ⑤ 写真販売 など

詳細は後日お渡ししますお手紙を参照に、皆様にご登録をお願いしておりますので、何卒お願い致します。

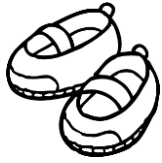
※連絡帳の画面から必ず登降園の有無の連絡を入れてください。

※感染症など、状況により、予定通り行事が実施できない場合もありますので、あらかじめご承知ください。その際は、都度にご連絡致します。

※年間行事予定表は、新年度になってからの配布となりますのでご了承ください。

※行事の内容についてお問い合わせもお受けしますので、ご遠慮なくお聞きください。

ご用意していただくもの



(持ち物・その他)



入園までにご準備ください。

組名、氏名はすべてのものにわかりやすい場所に大きな字で書きましょう。

自分のものがわからなくなるとお子さんが不安になります。



また、物の管理や大切に扱うことの第1歩です。

※ お子さんの持ち物や制服・スモック・帽子など、名前以外必要以上の装飾などは


避けてください



◎ 全学年共通

キッチンパック	ティッシュペーパー (5個入り)
着替え (靴下、パンツなどの小物) や濡れたもの、保育の遊びで使用します 	毎年、年度初めに準備くださいますようお願い致します。 
災害用水	
園でも数日分の用意はありますが、500mlペットボトルを一人1本、年度初めにご準備ください。3月に持ち帰りますので、新年度になりましたら新しい (消費期限の長い) ものと交換して4月に持たせてください。また、夏季熱中症対策のため水筒を持参いただいておりますが、忘れた際はこちらの水を使用いたします。使用后、連絡いたしますので補充してください。	

◎ 0歳児・1歳児に必要な物について

持ち物	数	内 容
ストローマグ	1 個	毎日持ち帰りますので、消毒して翌登園日に持たせてください。持ち帰りましたら、ストロー・吸い口の確認と消毒をお願い致します。
おしぼり	2 枚	乾いたものを1枚ずつビニール製の入れ物に入れて毎日、持たせてください。園で濡らし、食事およびおやつの際に使用します。入れ物、おしぼりに名前をつけてください。
お尻ふき	1パック	なくなりましたら連絡しますので補充してください。
(離乳) 食事用スタイ	数 枚	毎日持ち帰ります。翌日、新しい物を持たせてください。表から見てわかりやすいところに記名してください。ナイロンのような防水性の物をお願いします。市販のものでも構いません。
バスタオル	2 枚	肌掛け用・敷布用として使用します。大判サイズをご用意ください。名前をつけてください。持ち帰った場合、洗濯をして翌登園日に持たせてください。
着替え袋 	1 個	きんちゃく型が使いやすいです。大きさはたて(40cm)×よこ(30cm)ひもの長さ60~70cmを輪にして作ります。大きすぎる袋や長すぎるひもは床につき汚れやすくなります。名前を見えやすいところにつけてください。(肌着二枚、洋服二枚、ズボン一枚、靴下1組)

<食事について>

- ・おしぼりとエプロンをセットにしてジップロック等のビニール製の袋に入れたもの、2セットをきんちゃく袋に入れてご持参ください(給食用とおやつ用になります)
- ・おやつは満1歳から提供になります。
- ・離乳食のお子さん・1歳児は椅子に座って食事をしますので、お家でも座って食べる練習をしてください。



<オムツについて>

オムツは、処理用のキッチンパックに一枚ずつ入れて、オムツ用引き出しに入れてください。引き出しを毎日ご確認いただき、随時オムツの補充をお願い致します。オムツにも一枚ずつ名前の記入をお願い致します







<連絡帳・透明ファイルについて>

一日ごとにお子さんの様子を記入して頂きます。
園からもお便りしますので、確認して頂きましたら、押印又はサインをお願い致します。
*連絡帳、透明ファイルに名前の記入をお願い致します

<名札について>

背中側につけて頂きますようお願い致します。もし嫌がる場合は、毎日持ってくるカバンに付けて頂いても構いません。

◎ 2歳児に必要な物について

持ち物	数	内 容
給食袋	1式を巾着に入れて持たせてください	スプーン、フォーク 食事エプロン（首・腰の部分にゴムをつけます） →  ランチマット（1枚）、キッチンパック（1枚）
おしぼり	2枚	乾いたものを1枚ずつビニール製の入れ物に入れて毎日、持たせてください。園で濡らし、食事およびおやつの際に使用します。入れ物、おしぼりに名前をつけてください。
上靴 	1足	室内で使います。ズック靴が履きやすいです。ひも靴はご遠慮ください。厚底のものは足首をくじくことがありますので避けた方が良いでしょう。かかとに名前を書いてください。
水筒 (夏)		園外にお散歩など行くことが多いため、夏になりましたら毎日使います。コップタイプのものではなく、ストロー付きのものでお願い致します。中身は、水か麦茶です。
バスタオル	2枚	肌掛け用・敷布用として使用します。大判サイズをご用意ください。名前をつけてください。持ち帰った場合、洗濯をして翌登園日に持たせてください。
着替え袋 	1個	きんちゃく型が使いやすいです。大きさはたて（40cm）×よこ（30cm）ひもの長さ60～70cmを輪にして作ります。大きすぎる袋や長すぎるひものは床につき汚れやすくなります。名前を見えやすいところに付けてください。
コップ 	1個	コップで水を飲んだり、うがいに使います。 ※巾着にいれて持たせてください。
お尻ふき	1パック	なくなりましたら連絡しますので補充してください。

※2歳児クラスでは、お子さんの月齢に合わせ、トイレトレーニングを始めます。

<おたより入れについて>

毎日確認してください。

<名札について>

お子さんの左胸につけてください。もし嫌がる場合は、背中側につけて頂いても構いません。嫌がる場合は、職員までお知らせください



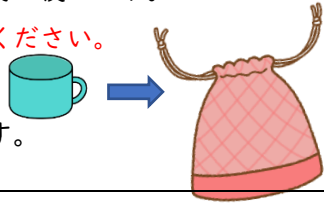


<オムツについて>

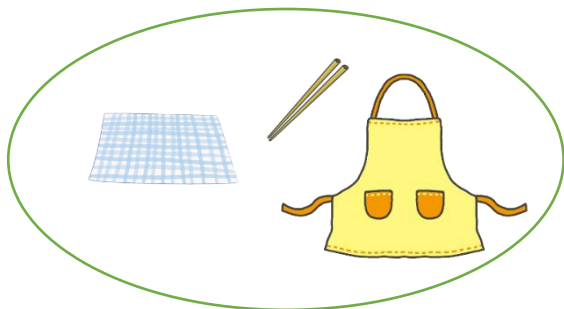
オムツには、1枚ずつ名前の記入をお願い致します。

（丸めた際にも名前が見えるよう、お尻側のテープの下に大きくお願い致します）

お子さんのオムツ用引き出しを毎日ご確認ください、随時オムツの補充をお願い致します




◎ 満3歳、3歳、4歳、5歳 共通で用意していただきたいもの

持ち物	数	内 容
 上靴	1足	ズック靴が履きやすいです。ひも靴はご遠慮ください。厚底のものは足首をくじくことがありますので避けた方が良いでしょう。
汗拭きタオル 	1枚	フックに掛けられるよう、ひもをつけてください。(手ぬぐいタイプのもの) 汚れた時や毎週金曜日に持ち帰ります。翌週の月曜日に持たせてください。
コップ	1個	コップで水を飲んだり、うがい、歯磨きの時に使います。 コップ・歯ブラシを巾着に入れて持たせてください。 *コップは、プラスチック製で お子さんの使いやすい物をお願い致します。 
給食セット		
エプロン (満3歳3歳・4歳)	数 枚	給食・おやつの時に使用します。 腰と首の部分に幅広ゴムをつけてください。 わかりやすい場所に名前をつけてください。 
(5歳) 	数 枚	首の部分は幅広ゴムをつけ、腰のひもは腰をひと回りし、前でリボン結びができる長さのひもをつけてください。 左右違う色のひもにするとお子さんが結ぶときにわかりやすいです。 毎日、きれいなものをもたせてください。 *手先の活動・リボン結びの練習を日々の活動で、できるようにします。
ランチマット	数 枚	給食・おやつの時に使用します。名前をつけてください。 お子さんがたたんで片づけます。お子さんたたみやすい大きさでお願いします。 毎日、きれいなものをもたせてください。
はし・スプーン 他 *箸を正しく持つことは、鉛筆を持つことにつながります。		箸はプラスチックのものよりすべり止めのついた木製のものが良いでしょう。ケースや箸の一本ずつに名前をつけてください。 ※エジソン箸など矯正箸は、使用不可です
替えのマスク	1箱	



すべてに記名してください
巾着に入れます



持ち物	数	内 容
道具箱  (横幅は 12 cm 程度)	1 個	ティッシュなどの空き箱を使い作ります。表に包装紙や布などを貼ると ① 箱が丈夫になる ② 子どもが自分のものとわかる という利点があります。名前を見えやすい所につけましょう。カバンと一緒に、お道具箱にしまうため幅広でないものをお願いします。
のり布巾	1 枚	のり専用のための、タオルハンカチを持たせてください ハンカチと間違えないよう大きく のり用 と書いてください
のり台 15 cm  15 cm	1 枚	下敷き、厚紙などで作ってください。のりがついた時に、濡れたのり布巾で拭きます。紙の場合、濡れてもいいようにラミネートなどしてください。(15 cm × 15 cm くらい)
着替え袋 	1 個	きんちゃく型が使いやすいです。大きさはたて(40 cm) × よこ(30 cm) ひもの長さ 60~70 cm を輪にして作ります。大きすぎる袋や長すぎるひものは床につき汚れやすくなります。名前を見えやすいところにつけてください。 レジ袋を入れてください(汚れたり濡れたりしたものを入れます)
水筒(夏)		園外にお散歩など行くことが多いため、夏になりましたら毎日使います。中身は、水・麦茶、スポーツドリンクも可です。

<冬制服> *掛け紐をつけてください *名札は左胸につけます



<ポケットについて>

ハンカチ・ティッシュをいれます。
落ちやすいのでポケットにはスナップ
やマジックテープをつけて下さい。

・制服のポケットには、ハンカチ・ティッシュを入れて登園してください

<夏制服>6月から9月の期間は夏制服の着用となります。近くなりましたら、お知らせ致します。

<制帽>



掛け紐をつけてください

<名札について>

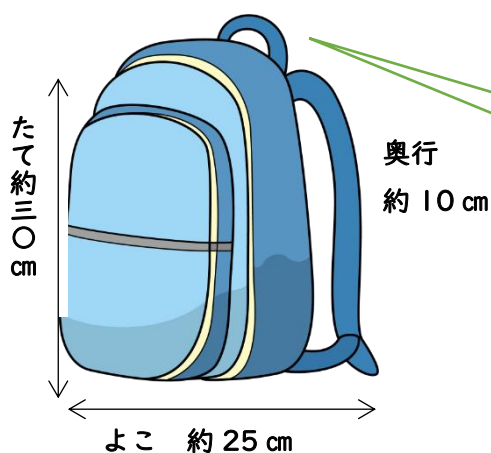


お子さんの名前を油性ペンで
わかりやすくはっきりと記入
してください

<登園時の持ち物>

リュックの中には…

- ・給食セット、おたよりばさみ（連絡帳・シール帳）、コップ（巾着にいれます）
- *スモック、汗拭きタオル（週末に持ち帰り、週初めに持参してください）
- ・バス、徒歩バッチはベレー帽の左側につけてください
- ・名札は制服左胸につけてください
- ・おじゅずはリュックサックの横の金具など、お子さんが出し入れしやすい所につけてください



リュックサック
に掛け紐をつけ
てください。

◎リュックサックは、お子さんが中身の出し入れをしやすいよう、開口部分が大きく開くタイプであるものや自立するタイプが使いやすいです！

◎園で汚れた衣類や貸し出しの絵本等は、こちらのリュックに入れて持ち帰ります。

荷物が多い時の場合の為に、薄手のエコバックをリュックに入れて頂き持ち帰りしたいと思います

<シール帳>

*表紙のクラス名、お子さんのお名前（フルネーム）の記入をお願い致します。

- ・シール帳の日数の集計・身長体重など園記入の欄がありますが、ルクミーで活用できるものもあるため、記入は致しませんのでご了承ください。

【その他】

- 名前は、はっきりと・・・・・・・・

購入いただく教具はすべての園児に共通のものです。名前がない場合、お子さんが困ります。
見えやすいところに大きく必ず名前をお書きください。

- ハンカチ・ちり紙は・・・・・・・・

常時、制服のポケットに入れておきます。替えのハンカチ・ちり紙を園かばんの中に入れておいてください。ポケットのついたズボンを、はかせてください。

※ポシェットは、使用禁止です ※ちり紙の匂いつき、模様入りは持たせないでください

- おもちゃ、その他不要な品物は・・・・・・・・

幼稚園におもちゃなど持たせないようにしてください。
園かばんにマスコット、キーホルダーなどは付けないでください。

- おやつその他の食べ物・・・・・・・・

幼稚園への持参は禁止します。

持ち物と服装

*3・4・5歳

1、共通の制服（夏・冬）、スモック、制帽、クラス帽子を購入していただきます。（おさがり可）

2、制服～お参り、行事、園外保育などに着用します。

- ・ 毎日の着替えてボタンの掛け外しをし、手先を使うことや着替えた服の裏返しを直すなど毎日の積み重ねで身に付けていきます。
- ・ 体の感覚（ボディイメージ）を身に着けます。
- ・ 身支度を整える、場にあった服装に着替え、心を整えるという意味合いがあります。
- ・ 園外保育の際、職員が把握し、迷子などを防ぎます。

3、制服から私服・スモックに着替えた場合、ポケットにハンカチ・ちり紙を入れ替えます。ポケットがついたズボンや服を着せてください。

4、カラー帽子（クラス帽子）は、クラスカラーの裏は黄色です。夏の登園時、帽子を裏返しにして登園し、遠くから車や他者から目立つように「黄色」にします。また、園内の活動の際、チーム分けなど子どもたちが分かりやすいようにします。高額ですが、子どもたちの安全とスムーズな活動のため何卒ご理解くださいますようお願い致します。

5、春・秋の上着（ジャンパー）は、着せてくるか・持参など、天候・お子さんの体調に合わせてご準備ください。お子さんの体調・気候に合わせて着脱致します。

外での活動が多いため、汚れても構わないものでお願い致します。替えのものを園で保管することはできません。

また、雨の日のカッパ・冬あそびのつなぎなど、一時的におあずかりする場合はご連絡致しますのでご協力のほどお願い致します。

*全学年共通

- 1、動きやすい服装で登園させてください。
- 2、アクセサリ、ボディシール、カチューシャは、紛失・折れるなどケガや活動の邪魔になりますので禁止です。

- 3、活動、発達の妨げ、けがの原因になる可能性のある服装例。

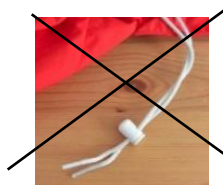
ガウチョパンツ/ロングスカート/ロングワンピース/スカーチョ など

タイツ（上靴を脱いで活動する際、すべて危険）

サスペンダー/オーバーオール/サンダル

硬質ものや鋭利な飾りのついた髪飾り/ベルト/

帽子を被ることのできないような大きなリボン



コードストッパーの付いたジャンパー

※遊具に首が引っ掛かり死亡した事故の例も報告されておりますので、ご協力ください。

- 4、幼稚園で砂あそびや泥あそびなどの機会があり、絵の具など制作の際、靴や洋服・パンツなど汚れることもあります。洗濯など汚れたまま持ち帰りますのでご了承ください。身体が汚れた場合は、洗ってから帰宅しますが家でも再度、お風呂に入るなどしてください。

- 5、2歳以上は、ロンパースを着用して登園するのはお控えください。

- 6、サンダル、スリッパ、ブーツでの登園は避けてください。

- 7、生活の中で、水にぬれる・おもらし・あそびで汚れる・下痢・吐しゃ物など、着替えをして帰ることが多くあります。

状況によっては、そのまま持ち帰ることがあります。また、下痢・吐しゃ物などは、ノロウィルス・ロタウィルスではなくても感染拡大防止のため、感染性の病気を想定して対応しますので、そのまま持ち帰ります。おうちでもご対応お願い致します。

*ご遠慮ください

● プレゼントの交換

- ・保護者同士の入園・卒園のプレゼント・退園の際の子どもたちへのプレゼント・旅行のお土産・お祝い・園の徴収している以外のお金など、保護者同士のやり取りの物品を園でお預かりして、お渡しすることはお控えいただいております

理由は大切なものを・・・ 間違った相手に渡してしまう、お願いされた期日に渡せない、渡すことが慣例となってしまう、お預かりしたものを破損・紛失するなどが起こるとご迷惑をお掛けしてしまいます

- ・退園の際に、クラスのお友だちにプレゼントのご用意などもご遠慮ください

- ・職員へのプレゼントなどのお気遣いも無用です

● 園児へのお土産

- ・特に食べ物の場合、食物アレルギーのお子さんが間違っって口にしてしまう恐れがあります。



雪が降ると始まる雪遊び！！寒い冬も元気いっぱい遊べるよう、冬支度の準備をお願い致します。
わからないことがあれば、いつでも園の方までご連絡ください。

時季がきましたらあらためてお知らせ致します。

〈スノーウェアについて〉

つながっているタイプの方が子どもも着脱しやすく、雪もはいらず良いです。

(年長見向け)



(年中以下の子向け)



- ・年少以上の子は雪遊びの後、自分でハンガーにつなぎをかけます。
- ・上記はあくまでも目安です。自分で着脱などできる場合はどちらでも大丈夫です。
- ・スムーズに着脱できるよう、お家での練習をお願い致します。基本的に幼稚園では自分の力で着脱できるよう援助しています。 そのためご家庭でも協力お願い致します。

・必ず、掛ひもをつけてください！

- ・朝、登園したときには子どもたちが自分のロッカーに掛けます。
- ・上下別々のつなぎの場合も掛け紐を縫い付けて下さい。

(セパレートの場合)

上→首のあたり



下→腰のあたり



(つなぎの場合)

腰に掛ひもを縫い付けてください。



〈手袋について〉

ナイロン製で、すぐに脱げないものが良いです。名前を必ず両方につけてください。
自分で着脱できる形のものをご用意ください。

5本指手袋



ミトン型手袋



上記のような手首までの短い手袋だと、すぐに雪が入ってしまうため腕抜きのようなものをつけると、手袋もぬげない！暖かい！ためオススメです♪（0歳、1歳は自分で始末ができないため不要です）
くつ下を切り、手袋にぬいつけます！



キャハンを使っている方もいます。



※手袋には必ずヒモをつけてください！！また、手袋のヒモは手首カバーの内側につけ、つなぎの中に通してください。手袋の外側のフックにしぼる方もいますが、カバーをつなぎのそでにかぶせられないため、内側をお願いします。袖から手袋を通し、えりもとでヒモを結んでいただくと、紛失しづらく良いです。

〈帽子について〉

耳がかかれて、かぶりやすいものが良いです！

耳かけ、ゴーグル、マフラーは転んだり遊んでいる際に、大変危険ですので不要です。



〈長靴について〉

・夏用のレインブーツではないものをご用意ください。

・スパイクのついているものは、大変危険ですので、スパイクのついていないものを用意してください。



⇨ このようなタイプが自分で脱ぎ履きしやすいです。

スノレは暖かいますが、年齢が低いお子さんは、自分で着脱が難しいため長ぐつをご用意ください。

※スノレや下の写真にあるような靴は、自分でできない場合は履かせないようにしてください。

・中敷きがあると冷えづらいです。

×



〈キャハンについて〉



長靴の上からあげさげをします。
自分であげさげすることが難しいため、
お家で何度も練習してください。
薄手の素材が子どもたちも始末しやすいです。
キャハンは必ずつけてください。キャハンがないと、遊んでいる途中に
雪が入ってしまいます。
ご協力をお願いします！！

〈米パンツについて〉 満3歳～5歳クラスで使用

冬休み明けには園庭に雪の坂ができます。米パンツをはいて坂を滑って楽しめます。

作り方は、下記の通りです。米パンツは、**3学期の始業式**に持ってきてください。



この部分はやぶれやすいので、
ガムテープ等で補強します。
肩部分に、ゴムをつけると良いですよ！！

※やぶれた場合はその都度持ち帰りますので
修理していただき、お持たせくださいね。

この部分は、長靴をはいたままで着脱できる
ような広さをお願いします。

- ・ウエスト部分にゴムを入れたり、ゴムで肩ヒモをつけて、パンツが下がらないように工夫してください。
- ・つなぎ(スノーウェア)の上から 米パンツをはきますので、余裕を持った大きさにしてください。実際につなぎの上からはいてみて、スムーズに着脱できるか確認してくださいね。

〈キャハンの練習をしよう！！〉



写真のように脚絆を足首まで下げる。そのまま靴を
脱ぐ。
※脚絆は全部取り外さず、靴の足首につけたままに
しておく



キャハンがついている状態の靴に足を入れる。
靴の中につなぎの裾を入れる。
(靴の脱ぎ方の写真の状態となる)
脚絆を上まで上げる。

〈お願い〉

- ・子どもは大人よりも体温が高く汗かきです。つなぎ、ジャンパーの下は、なるべく薄着にしてあげてください。
- ・全てのものに名前を付けてください。
- ・冬支度が全部そろいましたら、お家でお子さんと一緒に着脱の練習をしてください。

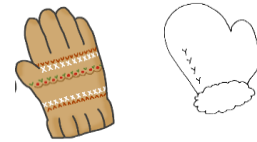
せっかくの雪遊び、途中で寒い思いをして少ししか楽しめない…というお子さんも多くみられます。お忙しい中大変かと思いますが、手紙を参考にお子さんに合ったものを準備お願い致します。不明な点があればご連絡ください。

ゆきあそびのあるある！！

実は色々な力に繋がっていますよ！雪があることで、お子さんも(大人も)こうなることつてありますよね！



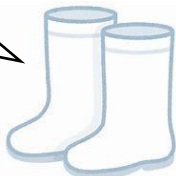
いててっ！すべっちゃった～
氷の上では、慎重に歩かないと…❄️



おっとっと！雪で歩きづらいな～
足を上げて歩こう！

手袋って履きにくい…。
どの指がどこに入るの??

長靴で歩いたら、靴が脱げそうになるな～。
足の指、足首にも力を入れるといいのかな！



あれれ…❄️雪にはまって起き上がれない…。
どこに力をいれたらいいん



普段は意識していない身体の部分を、冬の季節だからこそ！意識して使うようになります。

『山に登ってそりで滑る』『雪だるまを作る』だけが雪遊びなのではなく、『外に出て冷たい風を感じる』『つなぎを着る』『足を踏ん張って歩く』ことも大事な雪遊びです！！

「あるある」とよく目にする動きは、冬だからこそ体験できる身体の動きなんです。

- 健康・清潔について
- ご家庭への連絡について
- ケガ・安全について



健康・清潔について

*体調について

登園に際しましては、お子さんの体調にご配慮の上、お気づきの点などありましたら、担任か受け入れの教諭にお伝えください。

健康に登園しても、保育中に体調不良などの次のような状況が生じた場合、早めにお知らせしお迎えをお願い致します。

①平熱以上の発熱や全身症状を見て、熱が高くなくてもお子さんが、健康に保育生活を送れない状態と判断した場合

②持病が悪化するようすの疑われる場合

③下痢・嘔吐など感染性の疑いの症状、出席停止の感染症の疑いの場合

※保護者のかたがすぐに対応できない場合は、ご相談ください

※病気や怪我の後に登園される際は、医師に「幼稚園に通っている」旨をお伝えいただき、登園しても良いかどうかをお確かめください

※持病のあるお子様は必ず入園時にお知らせください。(アレルギー、けいれん、心臓病、喘息他)

*感染症について ○病気の種類によって多くの園児にうつります

①感染症と診断された時には、他の子にうつりますのでお休みいただきます。完治して登園される場合は、かかりつけの医師に登園の可否をお尋ねください。必要に応じ、当園が可能である旨の医師の意見者等を提出いただく場合があります。

②感染症がでた場合は、お知らせいたします。同じような症状で病院にかかる場合は、幼稚園で診断されたお子さんがいる旨をお伝えください。

③集団生活では、感染が早いため症状が出ている場合は、早めの受診をし、診断されたときは他のお子さんにうつりますので、お休みください。

④登園基準については、別紙「主な学校感染症一覧表」をご確認ください。

⑤学校伝染病と診断された場合は、ただちに幼稚園に連絡してください。幼稚園にあります「診断報告書」を提出していただきます。提出する際は、学校伝染病にて通院したという証明になるもので

1) 薬袋の表書きの部分、2) 診療代金の領収書、3) 診察券 のいずれかの一つをコピーまたは、切り抜き、診断報告書の裏面に添付してください。

*清潔について

- ・ 感染症・虫歯予防のため、園ではうがい手洗いの指導を行なっています。ご家庭でも、一緒に習慣づけてください。4歳からはフッ化物洗口を行なっています。(希望しない場合は、お水でうがいの練習を行ないます)
- ・ コップ、ハンカチは個人のもので、毎日清潔なものに取り替えてください。
- ・ 爪は長すぎると不衛生で遊びなどの際、危険を伴いますので、毎日点検してください。
- ・ 上靴は、避難訓練その他の理由で持ち帰ります。靴のサイズ、汚れなどご確認ください。

給食・食育

「食べることは生きること」

【給食献立、食育指導委託先】

まつもと薬局

<ねらい>

0歳～離乳食から固形食へ。さまざまな味や食感を知る。

1、2歳～食べることの楽しさを実感する

3歳～たのしくみんなで食事をする

4歳～みんなで食事をしながら食事のマナーを知る

5歳～食事のマナーを守り、好き嫌いせずよく噛んで食べる

以上のようにねらいに沿って、給食指導を行なっています。「食べることは生きること」であり、子どもたちの身体はもちろん、心をつくる大切な糧と捉え、子どもたちも作物を育てる、調理するなどの機会を取り入れ様々な「食育活動」を行なっています。

【野菜作り・収穫】 私たちは、米・肉・野菜・魚などたくさんの命に支えられ生きています。様々な作物を植え、感謝することやお花や作物を植え、生長を喜び、収穫を楽しみます。作った野菜を調理し美味しくいただきます。



すいか



とうきび



お米の収穫



いもほり

オクラ



サケの解体



その日の給食のトッピングになりました♡

* 乳児は、パンの提供はしていません。すべての食材には火を通してあります。

パンの提供は、3歳から時機を見て提供するようにしています。

* 3歳以上の果物は、生で提供しています

* 食器は、食器洗浄機・高温食器乾燥機で滅菌した陶磁器を使用しています。

* 食物アレルギーのお子さんをご相談いただき、アレルギー除去食のお子さんは、お弁当持参などでお願いする場合があります。

《お願い》

* お家でも食事の際、お子さんとしっかり噛んで（咀嚼）食べることを一緒にしましょう

* 食具の使い方、座って食べるなどマナーについても取り組みましょう

～ 食事だけでなく、生活に必要で大切なことはおうちだけ、園だけでは学べません。

一緒に取り組んでくださいますようご協力ください

食育 年間計画

方針

- * 意欲的に食べる子を育てる
- * 旬の食材、自ら育て収穫したものを味わうなど、豊かな食体験を積み重ねる
- * 食事をすることに感謝する気持ちを育てる
- * 食文化を継承する
- * 子どもの状況、年齢に応じた食事に配慮する
(時間、量、味付け、アレルギー、調理法〜誤嚥注意・咀嚼)

目標

- * 先生や友だちと一緒に食べることが美味しい、楽しいと思う
- * 食具を使い、好き嫌いなく、残さず食べることができる
- * 畑、栽培、収穫を体験し、命・そこに携わる人への感謝の気持ちを持つ
- * 栽培、収穫したものを調理し、食べる
- * 地域ならではの食材・旬の食材を知り、季節感あふれる献立を作る

	I 期	II 期	III 期	IV 期
0 歳児	どんな味? (5~6ヶ月)	おいしいよ (7~8ヶ月)	もぐもぐね (9~10ヶ月)	一緒に食べよう (12~18ヶ月)
1・2 歳児	粒のないドロドロ状を用意 * 進み具合など、ひとり一人に合った配慮	* 舌でつぶせる固さにする * 食品の種類を増やし、様々な味を経験する	* 歯ぐきでつぶせる固さにする * 軟らかくて形の大きなもの、薄味にする * 自分の手で口に運ぶ喜びを知る	* 噛んで食べられる固さにする * 噛む力が未熟なので、移行期を設ける * 食べる意欲がわく形を取り入れる
	食べてみようね (4~6ヶ月) * 安心した雰囲気の中で、食事ができるよう、担当・友だち・場所など環境に配慮する。 * 子どもとやり取りし少量から始める (摂取量、好み、家庭の食事状況の把握) * 野菜の苦みなど敏感な時期と理解し、調理形態、食材、味付け、彩を工夫する	おいしいよ (7~8ヶ月) 自分に合った量を残さず、おいしく食べる	一緒に食べられたね (9~12ヶ月)	おいしいよ (1~3ヶ月) * 食後の片づけをする * うがいをすることを身につける * 大人と一緒に手を合わせ挨拶をする * 大人や友だちと一緒においしく食べる
	おなかをすかさそう (4~6ヶ月) * 食事を楽しみにする * 体を十分に使い、体力の発散を図る * 大人も交えて、友だちと一緒に楽しい気持ちで食事を * ひとりのペースや好き嫌い、アレルギー、咀嚼などに配慮する * 手を合わせ感謝と落ち着いた気持ちであいさつする * 畑に植えるものについて話し合いをし、生長を観察しお世話をしながら収穫を楽しみにする	こぼさないで食べよう (7~8ヶ月) * 量を増やしながらこぼさずきれいに食べる * 良い姿勢で楽しく食事を * 「いただきます」「ごちそうさま」の意味を知る * 作物の収穫時期を知る * 畑の栽培を通し、旬を知り、季節感を味わう * 田んぼに苗を植え付ける	良い姿勢でいっぱい食べよう (9~12ヶ月) * やり取り中で、食べられる子は少しづつ食べられる量や食品の種類を増やしていく	なんでもたべられるよ (1~3月) * 食事のマナー、挨拶が身につく * 配膳、片付けができる * 身長、体重が変化し、大きくなったこと、健康について理解する
	満3 歳児			
	3・4 歳児			
5 歳児				

	畑	調理	の食 伝文 承化	指 食 指 導 育
畑	畑・田んぼの準備をする・じゃがいも・苗ほか 田んぼに植え替え	成長観察、草取り、(いちご・ピーマン・きゅうり・なすほか苗もの) 収穫をし食べる 畑や田んぼに集まる虫や昆虫、水生生物などを観察し、生き物の役割を知る	稲の苗づくりをし、次の 年長組に引き継ぐ	
調理	米を炊く (3~5歳)	収穫した野菜を調理 (切る・ちぎる・噛む・ふかす・炒める)	稲わらで 納豆づくり	お弁当作り
の食 伝文 承化	子どもの日	お盆	お餅つき	ひなまつり お茶会
指 食 指 導 育	清潔を保ち準備をする	夏野菜をよく食べる 食具・食器の使い方	命をいただく感謝する心 片付けができる	好き嫌いを減らし、必要な摂取量が食べられるようになる

<お子さんの体調不良によるお迎えのお願いについて>

園生活を送る中で様々な環境により、ストレスやウィルス、感染症などにより、体調を崩すお子さんがいます。年齢が低ければ変化も大きい場合があります。例えばアレルギーが疑われる症状、発熱しても家庭に帰ってから解熱するなど、園で症状が出てもご家庭で緩和する場合があります。

具合が悪い時に、一番に側にいてほしいのはお父さん・お母さんです。保護者の皆様におかれましては、お忙しいこととは思いますが、お子さんの健康・安全を考えお迎えをお願いする場合がありますことをご承知ください。

● 次のような状況の場合、ご連絡しています・・・

- ① 熱性けいれんのあるお子さんは、保護者の方と話し、注意すべき体温の場合
- ② 下痢、嘔吐が繰り返しある場合～脱水症状、体力減退など集団活動に支障が見られる場合
- ③ アレルギー症状～アレルギー症状が続く場合、その他諸症状が（下痢・嘔吐・アナフラキシーショックなど）懸念される場合
- ④ 風邪の諸症状がひどい場合
- ⑤ 高熱の場合
- ⑥ その他、お子さんの状況をお伝え・把握するため

● すぐに連絡をしてお迎えをお願いする場合がありますが、総合的に判断しお迎えをお願いしております。

- ①検温 ②便や尿の状態 ③普段お知らせいただいている平熱との変化
- ④お子さんの機嫌 ⑤部屋の気温 ⑥午睡の状況 ⑦食事のようす他

● お迎えまでの間について

- ①体調の観察 ②水分補給 ③（昼食時間の場合）食事をとるなど急変に備え、個別に別室で対応してお待ちしています。

※発熱後、すぐに登園できない感染症などありますので、医師の指示に従ってください。また、翌日症状がなくても発熱後は、一日経過してから登園するようにお願い致します。

<予防接種について>

乳幼児期に様々な予防接種を受ける場合が多いことと思います。

また、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症など、毎年受ける予防接種もありますが、接種につきましてのお願いです。

- 予防接種を受ける場合は、お知らせください。体調の変化に注意し、生活するように致します。
- 予約の際は午後の日程で早退するなど、接種後はご家庭で体調を見ていただき、変化がなければ翌日登園ください。
- 予防接種により、体調の変化がみられる場合があります。翌日に副反応が出る場合もありますので、その際は、お迎えをお願い致します。

*健康診断・歯科検診

事前に検診日をお知らせいたしますので、お子様の病気のこと健康のことを園にお伝えいただければ、園から囑託医の先生にお聞きすることもできます。検診の結果は、個別に3ご家庭にお知らせ致します。

くすりについて

*薬を飲ませて欲しいときは・・・

○服薬依頼書をご提出ください。その場合、印鑑が必要となります。

- ・ 数日分まとめて書いていただけますが、週をまたぐ場合は、あらためて新しい用紙に記入してください。
- ・ 服薬依頼書がない薬については、飲ませることができませんので予めご了承ください。
- ・ 主治医の相談を受ける際、日中（幼稚園にいる時間帯）の園では原則として薬を使用できないこと「子どもが園にいる間に投薬が必要か」お聞きください。

*保護者のかたへ

- 1, お子さんの薬は本来、保護者が登園して与えていただくのですが、緊急やむを得ない理由で、保護者が登園できないときは、保護者と園側で話し合いの上、園の担当者が保護者によって変わって与えます。この場合は、万全を期するため「服薬依頼書」に必要事項を記入の上、薬に添付して園に手渡してください。
- 2, 薬は、お子さんを診察した医師が処方し、調剤したもの、あるいはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限りします。
- 3, 保護者の個人的判断で持参した薬は、園として対応できません。
- 4, 座薬の使用は、行ないません。やむを得ず使用する場合は、医師からの具体的な指示書を添付してください。なお、使用にあたっては、その都度保護者にご連絡致しますので、ご了承ください。
- 5, 「熱が出たら飲ませる」「咳が出たら・・・」「発作が起こったら」というように症状を判断して飲ませることはできませんので、その都度保護者にご連絡することとなりますのでご了承ください。
- 6, 慢性の病気（気管支喘息、てんかん、糖尿病、アトピー性皮膚炎などのように経過が長引くような病気）の、日常における投薬や処置は、お子さんの主治医に指示に従うとともに、保護者・幼稚園の連携が必要です。
- 7, 持参する薬について
 - ① 使用する薬は、1回ずつに分けて、当日分のみご用意ください。
 - ② 袋や容器にお子さんの名前を記載してください。

*座薬・エピペンについて

園では、保育者による園児への座薬の使用は、行ないません。但し、熱性けいれん・てんかん等の持病をお持ちのお子さんに関しましては、主治医の指示のもと、緊急の場合に備えて座薬をお預かりすることが可能な場合があります。

また、アレルギーのお子さんでエピペンを処方されたお子さんに関しましても同様にご相談ください

おもな学校感染症一覧表

もしかかったら・・・
お休みして下さい。



一覧にあげた病気は、学校感染症といわれ、たとえ軽症でも登園できません。以下の場合は、幼稚園に連絡をしてください。
その後は、医師の指示に従い完治してから登園してください。
右の用紙に記入し、病院のレシート・薬袋(いずれもコピー可)のどれかを裏に貼り必要事項を記入の上、お子さんに持たせてください。

○第1種学校感染症

治癒するまで出席停止

H24年 4月改訂

エボラ出血熱・クリミアン出血熱・ペスト・マールブルグ病・ラッサ熱・急性灰白髄炎・コレラ・細菌性赤痢・ジフテリア・腸チフス・パラチフス
--

○第2種学校感染症

学齢期に多い伝染病

病名	出席停止	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	発症後5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み	飛沫	1～3日	発病後3～4日	うがい、手洗い、マスク、予防接種(任意)	冬 12～3月
百日咳	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫	1～2週間	発病後28日	予防接種	夏
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側にジリリカ班(白点)ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹	飛沫	10～12日	発疹の出る5日前～後4日	予防接種	冬～春
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	37～38℃の発熱。片側～両側のあごの後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振、嚥下困難	飛沫	1～2週間	発病7日前から発病後9日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
風疹(3日ばしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下などが腫れる。咳、結膜の充血	飛沫	2～3週間	発疹のでる7日前から、でた後の7日間	患者の隔離、予防接種	春～夏
水痘(水ぼうそう)	全ての発疹が痂皮化するまで	水疱のある発疹が体中に次々できる。かさぶたになり、先に出たものからなおっていく。	飛沫・直接	2～3週間	発疹のでる1日前からでた後の6～7日	患者の隔離、予防接種(任意)	冬～春
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状が消失した後、2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜の充血、首のリンパ節の腫脹	結膜接触・汚染物	5～7日	発病後2～3週	水泳禁止、洗眼	夏～秋
結核	伝染のおそれがなくなるまで	初期は自覚症状無し。X線で発見されることが多い。疲労感、寝汗、微熱、体重減少、肩こり、咳、たん	飛沫	1～2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見。栄養と休養	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	伝染のおそれがなくなるまで	高熱、頭痛、嘔吐、頸部硬直 早期の治療が必要	飛沫	2～5日		早急な治療、保健所への届け出義務	なし

○第3種学校伝染病

ただし第3種のその他の感染症については病気が治癒していなくても診断によっては出席停止とならない場合もあります。医師の指示に従って下さい。

流行性角結膜炎		眼の異物感、涙がよく出る。目やに、結膜の充血	結膜接触・汚染物	5～7日	発病後2～3週	水泳禁止、患者のさわったものを消毒する。手洗い	春～夏 5月頃
急性出血性結膜炎		眼の痛み、きつい充血、出血してくる	結膜・汚染物	1～2日	発病後5～7日	患者のさわったものを消毒する。手洗い	春～夏
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)		激しい腹痛、水様性の下痢、嘔吐、吐き気	経口	3～8日		手洗い・加熱消毒	
ヘルパンギーナ		高熱(38～39℃)のどの痛み、発赤、のどの奥に小さな水疱疹、潰瘍	飛沫	2～7日	発病後2～3日	外出を避ける	夏
溶連菌感染症	症状により学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで	高熱(39℃)発疹、扁桃の発赤や腫れ、のどの痛み、いちご舌	飛沫	2～5日	治療開始後24時間	うがい、手洗い	
マイコプラズマ感染症		発熱、乾性の激しい咳が続く、のどの痛み、胸部レントゲン陰影	飛沫	2～3週間	急性期	マスク	
伝染性紅斑(リンゴ病)		両頬に少し盛り上がった蕁麻疹様の発疹、手足に網目状の紅斑、発熱	飛沫	10～20日	発疹のでる1～2週間前の数日間		冬～春
手足口病		軽い発熱(2～3日) 小さな水疱が口の中や手足にできる	飛沫	2～7日	症状のある間	手洗い、消毒	夏
RSウイルス感染症		発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難	飛沫・接触	2～8日	症状前～3週間	手洗い・うがい	冬
感染性胃腸炎(ノロウイルス他) 流行性嘔吐下痢症(ロタ)		発熱、腹痛、下痢、嘔吐・便が白くなる(ロタ)	経口・飛沫	1～3日	症状がある間	手洗い・消毒	
その他							
アタマジラミ・伝染性軟属腫(水いぼ)・伝染性膿痂疹(とびひ)							

食事の提供について

子どもの年齢及び発達などに応じ、昼食及び間食の提供を行いません。

*** 食事をとる環境**

- ・ 食事は、各クラスでとります。0、1、2 歳児は、落ち着きのある家庭的な雰囲気を感じ、子ども一人ひとりの発達やその日の体調、情緒に合わせ適切な提供を心がけます。
- ・ 3、4、5 歳児は、集団で食べる喜びを感じる環境に配慮し、自ら食を営む力につながるよう、準備から片付けまでの習慣が身につくことを目指した援助を行いません。

*** 食事の内容**

- ・ 当園の栄養士が立案したメニューに基づき、自園での完全給食となります。栄養面・健康面に配慮し、素材や産地、乳幼児に相応しい刺激を抑えた味付け、安心安全な食事の提供を行いません。
- ・ 旬の食材や地元食材を使ったメニュー、伝承文化や行事とつながったメニューなども取り入れています。午後の間食には、乳幼児にあったおやつをなるべく取り入れ、夕食までのエネルギーをサポートします。献立は、給食日よりお伝えし、健康についての記述もありますのでご参考にしてください。
- ・ 年齢にあった、食材・食材の大きさ・硬さなどに注意し、誤飲・窒息事故が起きないように提供方法にも最大の注意を払います。

*** 食事（おやつ）の時間について**

- ・ 園生活では集団保育という点から、食事やおやつの時間は、その日のクラスの状況・活動・行事などによって毎日同じ時間で食べることは難しいため、個々に合わせた特定の時間に食事を行うことはできません。

*** 離乳食とアレルギー食**

- ・ 0.1 歳児の離乳食期については、食事に関する身体の成長に合わせ、提供する食事の調理方法や素材を変化させ、そしゃくを促したり、手づかみ食べから食器への意欲へつなげることを意識します。
- ・ スプーンや皿、茶碗など使う時や食べる際の姿勢・マナーなど年齢にあった関わりを行いません。
- ・ アレルギーをもつお子さんについては、家庭との連絡をとりながら、原因食材を除去した食事を提供します。ご利用の際は、申請書に記入し、医師の指示書を添えて園まで提出していただきます。
- ・ 完全除去食のお子さんは、お弁当を持参いただく場合があります。

乳幼児期の「食事」「離乳食」の大切さについて

朝ごはんを食べましょう！

ご飯を食べずに登園した場合、朝起きて幼稚園の給食まで5時間～6時間、何も食べないで活動することになります。園では、午前中に特に体を使う活動や話を聞き様々な活動に参加します。運動会の練習など、暑くて水分補給しても食事から摂る塩分が不足していると「熱中症」を引き起こしたり、集中力が持たず園生活が楽しめない、登園をしぼる、園外保育では自分で歩けない、けがをしやすいなど弊害がでます。必ず「朝ごはん」を食べてくるようにしましょう

★ 離乳食は「栄養補給」と「食べ方の練習」

生後5～6ヶ月頃になると母乳やミルクだけでは、成長に必要なエネルギーや栄養素が不足します。この時期は、様々な味に慣れることや固形物を食べる機能が整います。離乳食を摂ることにより、しっかり栄養を取ること（身体の成長）、舌や唇の機能（言語）も発達していきます。

別紙のように進めていきますが、離乳食の進み方は個人差があるため、個々の状況に合わせ、保護者の皆様と連携し進めていくことが大切であると考えております。

進めるにあたり、ご質問・疑問点などありましたらいつでもご相談ください。

★ ご家庭でのご協力をお願い致します。

「離乳食」から「幼児食」へ移行するこの時期は、保護者の方も食事だけでなく、生活において朝晩忙しいことと思います。

しかしながら、食事はまさに身体の成長発達には重要であり、生きる力を培うものです。

① 個々の段階にもよりますが、6ヶ月からの離乳開始をお願い致しています。

その時期になりましたら、お家でも練習を始めてください。

② 菓子パン類は、腹持ちが悪くお腹が空きやすいため、できるだけ「白飯」を食べて来ててください。

③ 園ではベビーチェア（0歳）椅子（1～2歳）で食事を摂ります。お家でもお子さんを抱っこではなく椅子に座って食べる練習をしてください。

④ 歩き食べせず、食べ終わるまで座わる練習をお願いします。

⑤ 0歳（連絡帳）、1歳（ルクミー）のお子さんは、前日の夕食・当日の朝食を記入してください

⑥ 朝食の食べが良くないなどありましたら、引き継いだ職員までお知らせください。

	発達段階	食べさせ方のポイント
5 ～ 6 ヶ月	<p>【固さの目安】ポタージュ</p> <p>【食事の目安】1日2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは食べ物に慣れる ・舌は、前後にしか動かさない。 ・上下の唇を閉じることがまだ、上手ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・舌を前後に動かし食べ物を運ぶ練習をする。 ・内臓機能が未熟なのでほしがっても用意した分量にとどめる。
7 ～ 8 ヶ月	<p>【固さの目安】豆腐</p> <p>【食事の目安】1日3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐもぐを確認しながら、丸のみ防止のためにも、個々のペースに合わせる。 ・舌が前後上下に動き、上あごと舌で食べ物をつぶせるようになる。 ・ベビーチェアに座って食べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐしようね」と声かけをし、もぐもぐしている口元を見せながら食べる。 ・舌を上あごに押し付けて食べ物をつぶす。 ・色々な食感を感じられるよう最初からおかずとおかゆを混ぜない。
9 ～ 11. ヶ月	<p>【固さの目安】バナナ</p> <p>【食事の目安】1日3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手づかみ食べや歯ぐきでつぶせるメニューやバランスに取れた食材を食べる。 ・舌が前後上下に動き、歯ぐきで食べ物をつぶせる。 ・前歯でかじり、汁物はすすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥の歯ぐきで食べ物をつぶすことができるようになる ・手づかみ食べが始まる。 手づかみ食べは、食べ物の形・感触を自分で確かめている大切な行為。
1 歳 ～ 1 歳 半	<p>【固さの目安】煮込みハンバーグ</p> <p>【食事の目安】1日3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食卒業までラストスパート。 ・舌もあごも自由に動かせるようになる。 ・歯ぐきで食べ物を噛める。 ・スプーンフォークを使うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのエネルギーや栄養素を離乳食からとることができる。 食事で足りない栄養素はおやつで補います。 ・汁物・和え物・煮物・炒め物・揚げ物など味覚やしゃくを育てます。 ・手づかみ食べが中心。自分で食べようという意欲を大切にします。 ・個々に合わせ、食具も使います。 ・ほぐしたり、細かくするなど食べられる大きさに配慮します。
1 歳 半 ～ 2 歳	<p>【固さの目安】焼ハンバーグ</p> <p>【食事の目安】1日3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食が終わり、幼児食のスタート。噛む力に合わせた食事が大切。 ・奥歯が生えてきて、食べ物を噛みつぶせるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食が完了したら、幼児食へ移行。食事で足りない栄養素はおやつで補います。 ・奥歯が生えそろっていないのですりつぶすことはできません。 ・噛む力と食事内容が合っていないと口から出す、口の中にため込む、丸のみする、水で流し込むなどするようになります。段階に合わせ、1歳～1歳半の固さに戻すなどしてしっかり噛んで飲み込むことを一緒にします。

昼寝について

* お昼寝の有無

- ・ 1号認定のお子さんは、お昼寝はしません。3歳以上のクラスも長時間保育のため、疲れや安全に保育が進められないと園が判断した場合行ないます。
- ・ 年齢によって、徐々に時間を短くやお昼寝をしないなどの場合、お知らせ致します。

* SIDS 予防のための取り組み

- ・ 0～1歳のお子さんは、5分おきに呼吸・体位・体調チェックを体にじかに触れて行ないます。
- ・ 呼吸を確保の確保、SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のため、園では仰向け寝を行ないます。
お家でもうつぶせ寝ではなく、仰向けで眠るよう癖づけしてください。
- ・ 0歳児クラスは、目視とセンサーチェックを行います。
- ・ 布団など顔にかからないように首から下にかけます。
- ・ 体を温めすぎないように気を付け、室温にも注意します。

* お昼寝に使うもの

- ・ 0、1歳児は、園の布団を使用し、さらに家庭からのバスタオルを使用しています。
- ・ 0、1歳以外は、基本的に簡易ベッド（コット）を使用します。
- ・ バスタオルを2枚持ってきてください。
- ・ バスタオルは、月曜日に持ってきて、週末に持ち帰りますので次回登園日には洗濯してきれいなものを持参ください。



* 簡易ベッド（コット）のメリット

- ・ 床との間に隙間があり、通気性が高いため、ダニ・ハウスダスト予防ができる。
 - ・ 汚れても水洗い、消毒が可能。積み重ね可能で収納が容易。軽量のため持ち運びが容易。
- 家庭の布団持参、持ち帰りの負担軽減が可能。

園で安定した生活が送れるよう、おうちでも早寝・早起き・朝ごはんの習慣づけをお願い致します。

ご家庭への連絡方法について

*保護者の電話番号は公表致しません

- ・ 病気や緊急なこと、行事のことで連絡する際は、本園よりご連絡致しますので家庭調査票の「緊急連絡先」には、携帯電話番号もご記入ください。
- ・ ご家庭以外の方からお子様を保育を受けているか否か、また、保護者の方の職場やご家庭についての問い合わせには、応じないようになっておりますので、ご親戚の方・親しい方には事前に伝えておいてください。

*職場への電話連絡は？

- ・ お子さんが病気や怪我をしたときには、職場へ電話連絡する場合がありますが、その場合、園の名前で職場にかけられる事に抵抗がある方は、お申し付けください。
その場合、園名ではなく担当の保育教諭の個人名でご連絡致します。

*毎日のようすについて

- ・ 保護者の方とのお子さんに関する情報共有は、お会いしたときに顔を合わせてお話しする、お便り帳の活用、電話連絡などで行ないます。 毎日連絡帳を書かせていただく学年とそうでない学年もあります。
- ・ 個別に時間をとっていただき保護者の方とお話をさせていただく場合もあります。
- ・ 3、4、5歳では、「話す力」を意識して、今日あったことや、行事について、持ち物など毎日の帰りの会などで保護者の方への連絡をお子さんへ伝えることがあります。
是非、お家でお子さんから聞く機会を作ってくださいと嬉しく思います。難しい内容の場合などは園が掲示板や配布物、お電話などにて補足致します。

*園だより・配布お知らせ・掲示・メール配信

- ・ 園だより・クラスだよりには、行事や準備物など、保護者に連絡する大切なお知らせが記載されています。他の配布物と合わせて必ず、ご確認ください。また、クラス前の掲示物・玄関の掲示板も送迎の際、ご確認ください。
- ・ その他のお知らせもルクミーのおたよりでメール配信しております。「確認」の表示がある場合は中身をご確認のうえ、「確認」をタップしてください。

*担任制について

- ・ 本園では、すべてのお子さんをすべての職員で保育しております。基本的には、担任との情報交換が主となりますが、延長保育時などは、担任以外の職員でもお気軽にお話ください。日中のお子さんのようすなどは、引き継ぐ職員間で情報を共有致します。
- ・ お子さんのようす・体調・怪我なども共有し、ようすを見ていきます。また、支援が必要な場合においても情報を共有し、個別支援を積極的に行ないます。その場合、保護者の方のご協力をお願い致します。

*** 小学校・他機関との接続について**

- ・就学前年となる年長児については、教育保育要領に基づき、小学校との連携があります。通常では、園での育ちをまとめた「教育要録」を就学先の小学校に送付すると共に、各学校の新入学担当とのミーティングを行ないます。この内容につきましては、事前の個人懇談などで保護者の皆様にお伝えさせていただきます。就学についてご相談等ありましたら、お気軽に担任までお問い合わせください。
- ・引越しや転園の際も本園に在園中の育ちを指定書式にまとめ、次の教育保育施設に送付致します。

*** バス利用にかかわり（通園・園外保育）**

- 1、運行管理者（園長）のもと、日頃からの安全運転教育・酒気帯び確認・添乗の際のマニュアルの確認を行ない安全に送迎致します
- 2、走行前後のバスの日常的な点検、一年に一度の車検整備を実施し安全に努めます
- 3、乗降の際、転倒によるけがのないよう補助し、安全確認の上、乗降するよう努めます
- 4、登降園の際、乗車表のチェックを行ない、乗り忘れや降ろし忘れのないよう点検します
- 5、やむを得ず窓を開け走行する際は、手・頭など窓から出ていないか注意し安全走行に努めます
- 6、安全に走行するための園児向けの乗車時の約束を徹底いたします。大きな声で話さない、席から立たない、手すりにつかまる、並んで待つ、並んで乗降する、飛び降りない、窓から手や頭を出さない、気分が悪い・トイレなど我慢しない（乗車前に排泄を済ませる）
- 7、安全に乗降したか、確認作業を何度も行なうため、お聞きした内容をあらためてご家庭へ連絡するなどお手数をお掛けするかもしれませんが、ご協力をお願い致します

幼稚園メール配信システムのご案内

本園では緊急時や園からのお知らせにメール配信システム（ルクミー）を導入し、保護者に連絡したい内容について、携帯電話等へ電子メールによる情報配信サービスを行なっております。

また、同じアプリで登園・降園管理・出欠席の連絡・毎日の検温・あずかり保育予約のお知らせなど行ないます。

怪我について

*** 安全に対する取り組み**

- 1、職員全員が常に安全の意識を持って、日々の保育を行ないます。
- 2、安全な保育環境に関する研修に参加し、常に知識や技術などの習得に努めます。
- 3、施設や遊具・備品などについては、毎日安全点検を行ないます。

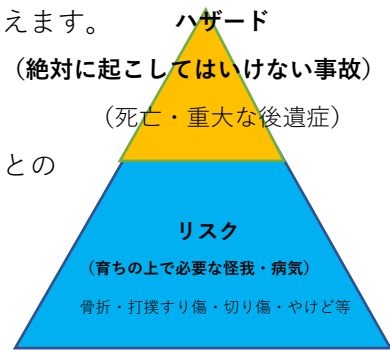
* リスクとハザード

子どもの育ちにとって、必要な怪我、病気は「リスク」として捉えます。
子ども達の育ちのためには大小のチャレンジが必要です。
そしてその際には、リスクが伴うことをご理解ください。

園生活の中では、何度もつまずきながら歩行を獲得する、友だちとの意見の相違を経験して、関わりを学んでいきます。
風邪や感染症など、家庭よりうつる可能性もより高くなります。

しかし、免疫を獲得し身体は強くなっていきます。本園の怪我や病気に関する考え方について事前のご理解をお願い致します。

また、ハザード（絶対に起こしてはいけない事故）は、排除するよう安全点検・研修を行い実践に活かすよう心掛けます。



* 怪我が発生したときは . . .

もし、園児が怪我をしてしまった際、園長もしくは副園長（教頭）、主幹（主任）保育教諭が医師の診断を必要と判断した場合、保護者のかたへ連絡した後、こちらで病院まで運ばせていただきます。保護者のかたも同伴が可能な場合は、お願い致します。万が一、ご連絡がとれない場合には、園児の身体の安全を最優先させ、本園の指定する医療機関でしかるべき治療等の対処を行ないますので予めご了承ください。

* 保護者への連絡は . . .

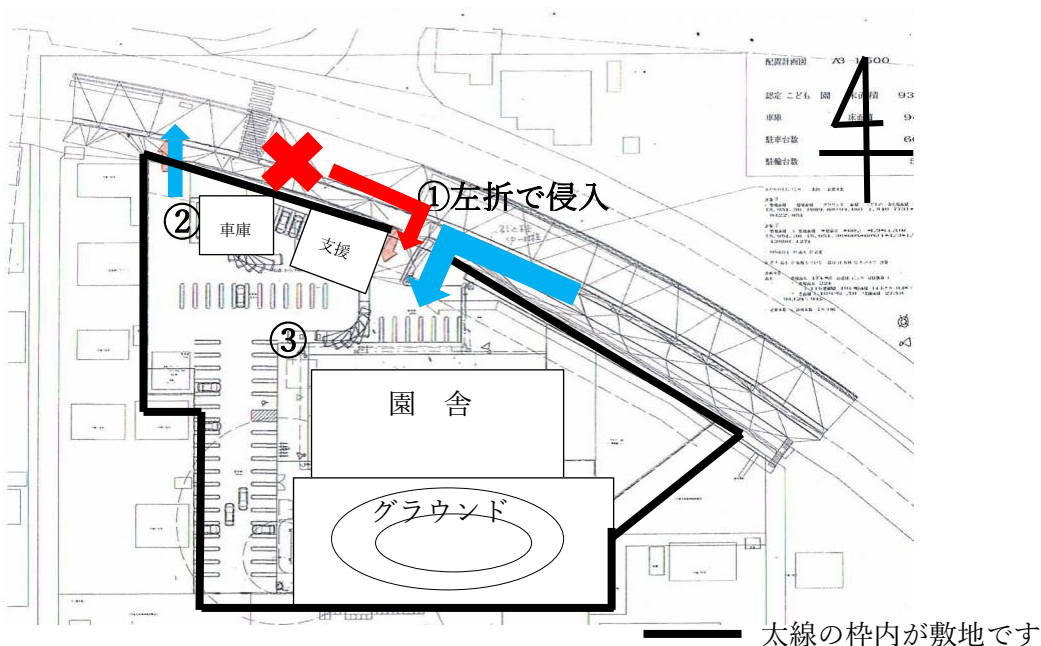
- 1、怪我などの状態が軽度で園内でようすを見ると判断した場合、園内で処置が可能だった場合は、お迎え時、または、降園後なるべく早く保育者から状況説明をさせていただきます。
お伝えする内容は、原則として発生前後の状況と園の対応、その後の経過です。
- 2、未満児（0、1、2歳児）の発達の特徴として、集団生活での「自我の芽生え」「自己主張」などからお友達への「ひっかき」「噛みつき」が起こる場合があります。この場合、無意識かつ反射的に行為に及ぶことがほとんどです。原則的には園からは相手の個人名をあえてお伝え致しません。但し、継続的に同じケースが続く場合はお伝えする事があります。
- 3、集団生活の最成長期である以上児（3、4、5歳）について、発達の特徴としてお友達関係の中でのトラブルが起こることがあります。この場合は、お子様自身が相手の個人名やその状況など、トラブルの内容をご家族にお話しできるケースが多いのですが、時には正確に伝えられない場合もあります。（時系列があやふや、相手が置き換わっている、ぶつかったことを叩かれた、意地悪をされたのに気づけない、意地悪をしたのに自覚していない、片付けで自分がしまおうとしたものを先にしまった子に「取られた」と思う、先生から見えないところで意地悪をする・される）などなど、日常の中でのトラブルは絶えません。 集団での友だち関係には、特に注意・配慮しお互いが気持ちよくかわれるよう、サポートすることを心がけています。 園でのトラブルは、園内で解決するようにしますが、お子さんが言えずに帰宅する場合がありますのでその際は、ぜひお問い合わせください。

また、原則として保護者間での対応は皆様の意向にお任せしておりますが、継続的に同じケースが続く場合などは、園から相手方にご連絡いただくようお願いすることもあります。

駐車場について

<子どもたちの安全のために・・・> ご協力ください

- ・通行の方や他の車両、近隣の民家の通行の妨げにならないようお願い致します。
- ・北東の看板下は、園の敷地ではありませんので、通行・駐車はしないようお願い致します。
- ・短時間でも園舎北側の園バス駐車スペースには停めないでください。
- ・敷地に入りましたら、徐行でお進みください。
- ・車で来園の際は、以下のように出入りをしてください。出入りの際は、歩行者に気をつけて通行願います。
- ・①から左折で入り ②から左折で出る 一方通行となります。
- ・西方面からお越しの際は、国道を右折ではなく一本南側の道路から①のように左折でお入りください。
- ・園バス停車位置は③となりますので、③付近には車を止めないでください。
- ・園敷地の北側（国道側から）しか入ることはできませんのでご注意ください。
- ・敷地内での事故やトラブルなどは、責任は負いかねますのでご了承ください。
- ・許可なく長時間駐車することはご遠慮ください。
- ・近隣の方の迷惑となりますので、敷地以外の駐車は厳禁です！ また、他のお宅の敷地を横切ることのないようお願い致します。



- ・駐車場では危険ですので、お子さんの手を離さずまた、立ち話や子どもたちが遊んだりしないよう速やかに帰ってください。
 - ・③で園バスが停車していることがあります。バスの陰から車が来たり、バスからお子さんが見えず事故になることも想定し、近づくことのないようご注意ください。
 - ・お車で送迎の場合は、盗難防止のため、施錠してください。
 - ・駐車場では、事故防止のため、お子様の手を引いて乗降ください。
- なお、敷地内での事故・盗難等につきましては責任を負いかねます。

送迎についてのお願い

幼稚園にお迎えに来ていただく際に、保護者の方に安全にお子様をお渡しする為に下記の点をご確認頂きますようお願い致します。

<登園について>

・インターフォンを鳴らし、「お子さんのクラス名・お名前」を伝えお入りください。玄関で QR コードをかざしてから、園内にお入りください。

※送迎の際、お部屋までお子さんをお連れください。朝は、荷物の整理等お子さんと一緒にしてください。

帰りは、忘れ物のないよう保護者の方が確認してください。

送迎の際、黙って置いていく、連れて帰ることなく、必ず近くの職員に声をかけ登降園してください。

※お子さんの登園時間より早く来た場合や降園時間より遅く来た場合は、30分100円の保育料が発生いたします。時間をお守り頂きますようお願い致します。

※タブレットに QR コードをかざしての登園となります。破損の恐れがあるためタブレットの操作は保護者の方が行うようにしてください

<降園について>

・3歳以上のお子さんは玄関に並んで待っています。風除室で QR コードをかざしていただいた後に、職員に声を掛けていただき、「お子さんのクラス名・お名前」をお伝え頂いた後にお渡しとなります

・玄関の前は駐車場となっております。お子さんが飛び出すと大変危険です。必ずお子さんと手を繋ぎ、安全に十分に留意し、お帰り頂きますようお願い致します。

※駐車場での保護者の方の立ち話等でお子さんが駐車場を自由に走り回っているという大変危険な場面もあります。保護者の方にお子さんの命を守って頂く事や、交通安全のルール等をお守り頂きますようお願い致します。

<保育中のお迎え>

・各保育室までお迎えに来て下さい。外遊び・園外保育等もありますので、事前に連絡を頂きますようお願い致します

<お迎えの方が、保護者以外の場合…>

例：「祖父が幼稚園にお迎えにいきます」

「どなたが どこに おおかえにくる」のか明確に伝えて頂きますようお願い致します。

※間違えや行き違いが起きないように事前のお知らせに御協力下さい。

※お迎えの方のお名前・続柄をお伝えください。身分のわかる証明書等をご提示ください。

※事前の連絡無く、お迎えが保護者以外の場合は、確認が取れるまでお待ち頂く事もあります。

愛山
大守
つが
な
願
手
い

